

対象年度	令和 2年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート							
事務事業名	友愛メルヘン橋管理事業						予算事業名	施設管理経費						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	建築基準法, 耐震促進法					
			08	03	07	1101	経常経費							
総合計画体系	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分	主要事業						
	2-1計画的で魅力あるまちづくり(都市計画)													
	①計画的な市街地の形成						担当課係等	都市計画課						
事業期間	4友愛メルヘン橋の改修						建築係							
事業期間	継続 (平成 5年度～令和 4年度)													
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
安全で安心な環境及び、魅力ある街づくりにより住みよい住環境の提供。						平成6年の供用開始より、施設管理及び関係法令に基づいた保守点検業務が必要となる。築20年以上経過し老朽化している場所も目立ち、今後も鉄道利用者及び市民の安全を図るため、改修工事などを行っていかなければならない。								
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】						【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】								
<ul style="list-style-type: none"> ●南口エレベーターの設置(都市再生整備事業) ●エスカレーター改修工事 ●エスカレーター保守点検業務 ●消防設備保守点検業務 ●電気保安管理業務 ●清掃業務 ●除草及び剪定 						結城駅を利用する通勤・通学する市民、結城市を訪れる観光客								
						【事業をとりまく環境の変化】 建築後20年を経過し老朽化も進む中、令和2年に駅南に市役所新庁舎が建設され、益々自由通路であるメルヘン橋の利用は増えると考えられ、さらなる住みやすい住環境整備が必要であることから、快適に北口南口をアクセスできるようにエレベーターの設置や老朽化の改修を行う。								
【令和2年度 事業内容】				【令和3年度 事業内容】				【令和4年度 事業内容】						
<ul style="list-style-type: none"> ●メルヘン橋エスカレーターステップリニューアル(北口) ●メルヘン橋エレベーター設置及び改修基本設計(都市再生整備事業) 				<ul style="list-style-type: none"> ●メルヘン橋エスカレーターステップリニューアル(南口) ●メルヘン橋エレベーター設置及び改修実施設計(都市再生整備事業) 				<ul style="list-style-type: none"> ●エスカレーター周辺部品交換 ●メルヘン橋南口エレベーター設置及び改修工事(都市再生整備事業) 						

■事業費

		H30年度	R01年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	0	0			
	一般財源	17,232	20,050			
歳入計(千円)		17,232	20,050			
歳出内訳	節(番号+名称)	金額(千円)	金額(千円)			
	11 需用費	10,404	2,493			
	12 役員費	122	126			
	13 委託料	6,706	6,816			
	15 工事請負費	0	10,615			
歳出計(千円)(A)		17,232	20,050			
伸び率(%)			16.35			
備考	総合計画71ページ 予算書145ページ					

平成30年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		H30年度	R01年度	R02年度
活動 指標	改修工事の実施状況	回	目標	1.00	1.00	0.00
	駅利用者へ改修工事による安全対策		実績	0.00	0.00	0.00
	修繕工事	回	目標	6.00	6.00	0.00
	駅利用者に常に快適に使用できることを目標とする		実績	2.00	0.00	0.00
成果 指標	駅の利用者数	人	目標	3,000.00	3,000.00	3,000.00
			実績	3,000.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	結城市の玄関口として利用され、令和2年には市役所新庁舎が南に建設され、今後北口及び南口をつなぐ新庁舎のアクセス道として利用される為、エレベーター設置や老朽化対策は急務である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市が管理している施設である。
	手段の妥当性	A 妥当である	令和2年より社会資本整備総合交付金事業である都市再生整備事業により駅周辺から新庁舎までの環境の充実を図るために。事業に盛り込む。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	市民の要望である、自由通路の南口のエレベーター設置を、交付金を受け入れられる体制にし、市の財政負担の軽減に寄与する。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	利用者に隔たりは無い。
有効性	成果向上の余地	B どちらも言えない	エレベーター設置や老朽化工事は、大規模な費用が掛かる為、国庫補助金の利用や起債など検討し施設管理に努める。
進捗度	事業の進捗	B どちらも言えない	社会資本整備総合交付金「都市再生整備事業」の中に、エレベーター設置や老朽化の改修を申請し事業の進捗率を上げる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
結城市の南北をつなぐ役割を果たすメルヘン橋は、市役所新庁舎建設に伴い重要性及び利用率が高くなるとが予想され、誰でも自由に不自由なく使用できる施設とするため、早急にバリアフリー化を行わなければならない。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
担当課は、維持管理費や工事費のコスト削減は当然とし、財源確保のため、常に国庫補助事業導入を視野に入れ財政負担を少なくする。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 老朽対策やバリアフリー化が求められている中、新庁舎の建設も始まり対応を検討する必要がある。補助事業による財源確保の検討も進んでいることから、計画的に事業を進めていく。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））	
<input type="checkbox"/> 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） <input type="checkbox"/> 改善改革しながら継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続（改善・改革なし） <input type="checkbox"/> 統合・新規事業への展開 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。	